



23 

2026年2月期（2025年度）
通期

決算説明資料

2026年4月9日

ONWARD HOLDINGS CO., LTD.

MISSION STATEMENT

オンワードグループのミッションステートメント

ホ シ

ヒトと地球に 潤いと彩りを

「社員の多様な個性をいかしたお客さま中心の経営」により

地球と共生する「潤いと彩り」のある生活づくりに貢献する

『生活文化創造企業』

として前に進み続ける



01	連結実績および連結業績予想ハイライト	P3
02	2025年度 連結実績	P8
03	2026年度 連結業績予想	P12
04	財務状況	P15
05	Topics	P20
06	人的資本経営への取り組み	P23
07	サステナブル経営への取り組み	P26
08	Appendix	P29

01

連結実績および連結業績予想
ハイライト



UNF/LO
アンフィロ

2025年度 連結実績ハイライト

売上高

2,368 億円

前期比 +13.6%
+284億円

営業利益

116 億円

前期比 +14.3%
+15億円

当期純利益

101 億円

前期比 +18.5%
+16億円

EBITDA※

172 億円

前期比 +11.3%
+17億円

※ EBITDA = 営業利益 + 減価償却費等

- 売上高は、前期比で13.6%増収の2,368億円となった。オンワードパーソナルスタイルやウィゴー等の国内グループ会社が増収を牽引した。またオンワード樫山と海外グループ会社の売上高も堅調に推移した。
- ブランド別の売上高は、『アンフィロ』（+35.5%増収）、『カシヤマ』（+33.3%増収）、『WEGO』（+7.5%増収 ※単純前年対比）、『チャコット・コスメティクス』（+22.0%増収）等の戦略強化ブランドが好調だった。『23区』（+5.0%増収）等の基幹ブランドも堅調に推移した。
- 販路別の売上高は、百貨店が2%の減収となったが、ショッピングセンター等が29%、ECが12%の大幅な増収となった。
- 営業利益は14.3%増益の116億円となった。売上総利益率は、在庫管理の徹底等により0.2%改善して54.7%となった。販管費率は、店舗運営や広告宣伝等の効率化を更に徹底したことから、下期において0.2%低下し、通期では49.8%となった。
- 海外事業については、ヨーロッパ事業、アメリカ事業、アジア事業の合計で、2014年度以来11期ぶりとなる営業黒字化を実現した。
- 以上の結果、当期純利益は18.5%増益の101億円で着地し、「2026年度において当期純利益を100億円」とする中期経営計画を1年前倒しで達成した。EBITDAは11.3%増の172億円となった。

2025年度 戦略強化ブランド実績

23区 (オンワード樫山)

2025年度増収率 (前期比) **+5.0%**

冬物商戦主力のアウター・ニットにおいて、商品完成度・投入数量・販促策が合致し、通期売上拡大に貢献。



アンフィーロ (オンワード樫山)

2025年度増収率 (前期比) **+35.5%**

二季に対応した機能美商品の開発とデジタル戦略による新規アプローチが認知・売上の両軸に寄与。



カシヤマ (オンワードパーソナルスタイル)

2025年度増収率 (前期比) **+33.3%**

デジタルマーケティングによる既存店の売上伸長と、郊外型ショッピングセンターへの新規出店が奏功。



WEGO (ウィゴー)

2025年度増収率 (前期比) **+7.5%***

※連結前を含む2025年3月～2026年2月の単純比較

売れ筋商品の重点的な投入と、コラボレーション企画が好調に推移し、売上拡大。



チャコット・コスメティクス (チャコット)

2025年度増収率 (前期比) **+22.0%**

ドラッグストア等新たな販路の拡大と、季節限定商品・主力定番商品が高稼働し、売上伸長。



大和

2025年度増収率 (前期比) **+15.6%**

法人向けビジネスおよびふるさと納税返礼品事業が好調に推移。



2026年度 連結予想ハイライト

売上高

2,470 億円

前期比 +4.3%
+102億円

営業利益

128 億円

前期比 +10.3%
+12億円

当期純利益

112 億円

前期比 +10.9%
+11億円

EBITDA※

188 億円

前期比 +9.3%
+16億円

※ EBITDA = 営業利益 + 減価償却費等

- 売上高は、前期比で4.3%増収の2,470億円を見込む。成長戦略の柱として、ファッション領域の5事業（『23区』、『J.PRESS』、『カシヤマ』、『アンフィーロ』、『WEGO』）、ウェルネス領域の3事業（「コスメ」、「ギフト」、「IP・ペット」）およびコーポレートデザイン領域を選択し、経営資源を集中する。
- 営業利益は、10.3%増益の128億円を計画する。在庫管理の徹底や値引き販売の抑制等を継続することで、売上総利益率は前期と同水準の54.7%を見込む。また店舗運営や広告宣伝の効率化を徹底し、販管費率は0.3%低下の49.5%を予想する。
- 海外事業については、アメリカ事業の営業黒字化を実現し、ヨーロッパ事業、アジア事業と並んで、全エリアでの営業黒字化を見込む。
- 当期純利益は、10.9%増益の112億円、EBITDAは、9.3%増の188億円を予想する。以上の結果、増収および全段階利益での増益を見込む。

株主還元強化

■ 配当方針

- 株主の皆さまへの利益還元を経営の最重要課題の一つと位置付け、配当性向の目安を通期で40%以上とし、安定的で業績に連動した適正な利益配分を行う方針。
- 株主の皆さまへの利益還元の機会充実を図るため、2025年度より中間配当制度を導入し、中間配当として14円を実施済み。期末配当として16円、通期合計30円の配当を予定。（2024年度の26円から4円の増配を計画。）
- 2026年度は、中間配当として16円、期末配当として17円、通期合計33円の配当を予想。（2025年度の30円から3円の増配を計画。）

		2026年度 予想	2025年度 予定	2024年度 実績
1株当たり配当金	中間	16円	14円	-
	期末	17円	16円	26円
	合計	33円	30円	26円
配当金総額（百万円）		4,488	4,080	3,529
当期純利益（百万円）		11,200	10,094	8,516
配当性向		40.1%	40.4%	41.4%

02

2025年度
連結実績



2025年度 連結実績

		通期実績		対2024年度		対公表値		
単位：百万円		2025年度	2024年度	公表値	増減額	増減率	増減額	増減率
1	売上高	236,804	208,393	230,000	+28,411	+13.6%	+6,804	+3.0%
2	売上総利益	129,415	113,575	126,000	+15,840	+13.9%	+3,415	+2.7%
	対売上高比率	54.7%	54.5%	54.8%		+0.2%		△ 0.1%
3	販管費	117,811	103,422	114,500	+14,389	+13.9%	+3,311	+2.9%
	対売上高比率	49.8%	49.6%	49.8%		+0.2%		+0.0%
4	営業利益	11,604	10,153	11,500	+1,451	+14.3%	+104	+0.9%
	対売上高比率	4.9%	4.9%	5.0%		+0.0%		△0.1%
5	経常利益	11,176	10,084	11,000	+1,092	+10.8%	+176	+1.6%
	対売上高比率	4.7%	4.8%	4.8%		△0.1%		△0.1%
6	当期純利益	10,094	8,516	10,000	+1,578	+18.5%	+94	+0.9%
	対売上高比率	4.3%	4.1%	4.3%		+0.2%		+0.0%
7	EBITDA [※]	17,195	15,452	17,000	+1,743	+11.3%	+195	+1.1%
	対売上高比率	7.3%	7.4%	7.4%		△0.1%		△0.1%

※ EBITDA = 営業利益+減価償却費等

2025年度 主要事業会社別実績

通期実績

		単位：百万円	2025年度	2024年度	増減額	増減率
1	オンワード樫山+HD	売上高	115,850	113,613	+2,237	+2.0%
		営業利益	7,240	7,190	+50	+0.7%
2	ウィゴー	売上高	32,546	12,828	+19,718	+153.7%
		営業利益	1,471	123	+1,348	+1095.9%
3	オンワード	売上高	8,283	6,215	+2,068	+33.3%
	パーソナルスタイル	営業利益	258	18	+240	+1333.3%
4	オンワード	売上高	19,121	18,452	+669	+3.6%
	コーポレートデザイン	営業利益	1,822	1,726	+96	+5.6%
5	チャコット	売上高	10,669	10,169	+500	+4.9%
		営業利益	991	845	+146	+17.3%
6	クリエイティブヨーコ	売上高	6,875	6,798	+77	+1.1%
		営業利益	670	821	△ 151	△ 18.4%
7	大和	売上高	24,085	20,832	+3,253	+15.6%
		営業利益	1,461	1,234	+227	+18.4%
8	国内グループ会社小計	売上高	111,744	86,123	+25,621	+29.7%
	(オンワード樫山+HD除く)	営業利益	6,789	5,431	+1,358	+25.0%
9	ヨーロッパ計	売上高	13,562	12,407	+1,155	+9.3%
		営業利益	124	173	△ 49	△ 28.3%
10	アメリカ計	売上高	2,257	2,374	△ 117	△ 4.9%
		営業利益	△ 47	△ 379	+332	↗
11	アジア計	売上高	7,199	7,047	+152	+2.2%
		営業利益	191	91	+100	+109.9%
12	海外グループ会社小計	売上高	23,018	21,828	+1,190	+5.5%
		営業利益	268	△ 115	+383	↗
13	連結合計	売上高	236,804	208,393	+28,411	+13.6%
		営業利益	11,604	10,153	+1,451	+14.3%

※グループの内訳は単純合算 連結合計には相殺消去含む

2025年度 販路別売上高

		① オンワード樫山				② 国内EC対象事業会社8社*				合計 (① + ②)			
単位：百万円		2025年度	2024年度	増減額	増減率	2025年度	2024年度	増減額	増減率	2025年度	2024年度	増減額	増減率
1	百貨店	39,467	41,199	△1,732	△ 4.2%	11,554	10,957	+597	+5.4%	51,021	52,156	△1,135	△ 2.2%
	構成比	34.1%	36.3%		△ 2.2%	12.9%	16.9%		△ 4.0%	24.8%	29.3%		△ 4.4%
2	SC他	42,232	39,736	+2,496	+6.3%	54,018	34,709	+19,309	+55.6%	96,250	74,445	+21,805	+29.3%
	構成比	36.5%	35.0%		+1.5%	60.4%	53.7%		+6.7%	46.9%	41.8%		+5.1%
3	リアル販路計	81,699	80,935	+764	+0.9%	65,572	45,666	+19,906	+43.6%	147,271	126,601	+20,670	+16.3%
	構成比	70.5%	71.2%		△ 0.7%	73.3%	70.6%		+2.7%	71.7%	71.0%		+0.7%
4	自社EC	28,284	27,803	+481	+1.7%	17,321	14,338	+2,983	+20.8%	45,605	42,141	+3,464	+8.2%
	構成比	24.4%	24.5%		△ 0.1%	19.4%	22.2%		△ 2.8%	22.2%	23.6%		△ 1.4%
5	他社EC	5,867	4,875	+992	+20.3%	6,574	4,643	+1,931	+41.6%	12,441	9,518	+2,923	+30.7%
	構成比	5.1%	4.3%		+0.8%	7.3%	7.2%		+0.2%	6.1%	5.3%		+0.7%
6	EC販路計	34,151	32,678	+1,473	+4.5%	23,895	18,981	+4,914	+25.9%	58,046	51,659	+6,387	+12.4%
	構成比	29.5%	28.8%		+0.7%	26.7%	29.4%		△ 2.7%	28.3%	29.0%		△ 0.7%
7	自社EC比率	82.8%	85.1%		△ 2.3%	72.5%	75.5%		△ 3.1%	78.6%	81.6%		△ 3.0%
8	売上高計	115,850	113,613	+2,237	+2.0%	89,467	64,647	+24,820	+38.4%	205,317	178,260	+27,057	+15.2%

※Eコマースを運営している以下の国内事業会社8社

ウィゴー、オンワードパーソナルスタイル、アイランド、ティアクラスセ、チャコット、クリエイティブヨーコ、大和、KOKOBUY

03

2026年度
連結業績予想

KASHIYAMA



2026年度 連結業績予想

		通期予想		対2025年度	
単位：百万円		2026年度	2025年度	増減額	増減率
1	売上高	247,000	236,804	+10,196	+4.3%
2	売上総利益	135,100	129,415	+5,685	+4.4%
	対売上高比率	54.7%	54.7%		+0.0%
3	販管費	122,300	117,811	+4,489	+3.8%
	対売上高比率	49.5%	49.8%		△ 0.3%
4	営業利益	12,800	11,604	+1,196	+10.3%
	対売上高比率	5.2%	4.9%		+0.3%
5	経常利益	12,300	11,176	+1,124	+10.0%
	対売上高比率	5.0%	4.7%		+0.3%
6	当期純利益	11,200	10,094	+1,106	+10.9%
	対売上高比率	4.5%	4.3%		+0.2%
7	EBITDA [※]	18,800	17,195	+1,605	+9.3%
	対売上高比率	7.6%	7.3%		+0.3%

※ EBITDA = 営業利益+減価償却費等

2026年度 主要事業会社別予想

		上期				下期				通期				
		単位：百万円	2026年度	2025年度	増減額	増減率	2026年度	2025年度	増減額	増減率	2026年度	2025年度	増減額	増減率
1	オンワード樫山+HD	売上高	55,500	54,724	+776	+1.4%	61,230	61,126	+104	+0.2%	116,730	115,850	+880	+0.8%
		営業利益	2,610	2,516	+94	+3.7%	4,920	4,724	+196	+4.1%	7,530	7,240	+290	+4.0%
2	ウィゴー	売上高	15,838	15,715	+123	+0.8%	15,709	15,595	+114	+0.7%	31,547	31,310	+237	+0.8%
		営業利益	1,152	1,099	+53	+4.8%	233	198	+35	+17.7%	1,385	1,297	+88	+6.8%
3	オンワード パーソナルスタイル	売上高	5,240	3,834	+1,406	+36.7%	6,070	4,449	+1,621	+36.4%	11,310	8,283	+3,027	+36.5%
		営業利益	100	21	+79	+376.2%	300	237	+63	+26.6%	400	258	+142	+55.0%
4	国内ファッション領域計	売上高	80,438	78,431	+2,007	+2.6%	86,929	85,378	+1,551	+1.8%	167,367	163,809	+3,558	+2.2%
		営業利益	3,942	3,587	+355	+9.9%	5,563	5,117	+446	+8.7%	9,505	8,704	+801	+9.2%
5	ヨーロッパ計	売上高	6,670	5,996	+674	+11.2%	8,060	7,566	+494	+6.5%	14,730	13,562	+1,168	+8.6%
		営業利益	△ 70	△ 211	+141	↗	250	335	△ 85	△ 25.4%	180	124	+56	+45.2%
6	アメリカ計	売上高	1,010	728	+282	+38.7%	2,190	1,529	+661	+43.2%	3,200	2,257	+943	+41.8%
		営業利益	△ 40	△ 41	+1	↗	50	△ 6	+56	↗	10	△ 47	+57	↗
7	アジア計	売上高	4,972	3,871	+1,101	+28.4%	5,561	4,564	+997	+21.8%	10,533	8,435	+2,098	+24.9%
		営業利益	258	264	△ 6	△ 2.3%	167	101	+66	+65.3%	425	365	+60	+16.4%
8	海外ファッション領域計	売上高	12,652	10,595	+2,057	+19.4%	15,811	13,659	+2,152	+15.8%	28,463	24,254	+4,209	+17.4%
		営業利益	148	12	+136	+1133.3%	467	430	+37	+8.6%	615	442	+173	+39.1%
9	ファッション領域計	売上高	93,090	89,026	+4,064	+4.6%	102,740	99,037	+3,703	+3.7%	195,830	188,063	+7,767	+4.1%
		営業利益	4,090	3,599	+491	+13.6%	6,030	5,547	+483	+8.7%	10,120	9,146	+974	+10.6%
10	チャコット	売上高	6,280	5,754	+526	+9.1%	5,920	4,915	+1,005	+20.4%	12,200	10,669	+1,531	+14.3%
		営業利益	750	749	+1	+0.1%	300	242	+58	+24.0%	1,050	991	+59	+6.0%
11	クリエイティブヨーコ	売上高	3,280	3,199	+81	+2.5%	3,720	3,676	+44	+1.2%	7,000	6,875	+125	+1.8%
		営業利益	260	204	+56	+27.5%	470	466	+4	+0.9%	730	670	+60	+9.0%
12	大和	売上高	12,150	11,531	+619	+5.4%	12,380	12,554	△ 174	△ 1.4%	24,530	24,085	+445	+1.8%
		営業利益	890	973	△ 83	△ 8.5%	610	488	+122	+25.0%	1,500	1,461	+39	+2.7%
13	コスメ・デ・ポーテ	売上高	910	0	+910	-	760	0	+760	-	1,670	0	+1,670	-
		営業利益	240	0	+240	-	140	0	+140	-	380	0	+380	-
14	ウェルネス領域計	売上高	23,600	21,400	+2,200	+10.3%	23,660	22,028	+1,632	+7.4%	47,260	43,428	+3,832	+8.8%
		営業利益	2,350	2,054	+296	+14.4%	1,530	1,275	+255	+20.0%	3,880	3,329	+551	+16.6%
15	コーポレートデザイン領域計 (オンワードコーポレートデザイン)	売上高	8,740	9,004	△ 264	△ 2.9%	10,630	10,117	+513	+5.1%	19,370	19,121	+249	+1.3%
		営業利益	910	908	+2	+0.2%	1,090	914	+176	+19.3%	2,000	1,822	+178	+9.8%
16	連結合計	売上高	117,500	112,636	+4,864	+4.3%	129,500	124,168	+5,332	+4.3%	247,000	236,804	+10,196	+4.3%
		営業利益	6,400	5,736	+664	+11.6%	6,400	5,868	+532	+9.1%	12,800	11,604	+1,196	+10.3%

※成長事業の進捗をより明確にするため、2026年度より決算説明資料上、セグメント区分を一部組み替えて表示。（ウィゴーは、2026年度より、国内、海外（アジア計に含む）に分けて記載。）

※グループの内訳は単純合算 連結合計には相殺消去含む。

04

財務状況



2025年度 連結貸借対照表

	単位：億円	2025年度末	2024年度末	増減
1	資産合計	1,892	1,792	+100
2	流動資産	925	801	+124
3	現金及び預金	197	135	+62
4	売掛金	187	159	+28
5	棚卸資産	497	458	+39
6	固定資産	966	991	△ 25
7	有形固定資産	434	476	△ 42
8	無形固定資産	115	128	△ 13
9	投資その他の資産	416	385	+31
10	負債合計	956	949	+7
11	買掛金	185	197	△ 12
12	借入金	463	485	△ 22
13	その他	308	267	+41
14	純資産合計	935	842	+93
15	自己資本比率	49.4%	47.0%	+2.4%
16	流動比率	134.8%	127.7%	+7.1%

■ 棚卸資産

ウィゴの仕入れ強化等による増加。
棚卸資産については、コロナ禍前の在庫回転期間を目指し、適正化を進める。

■ 有形固定資産

第4四半期において実施した固定資産売却等により減少。

■ 買掛金

中小受託取引適正化法（取適法、2026年1月施行）に伴う支払サイクル短縮により減少。

■ 借入金

返済による減少。

■ 自己資本比率

自己資本比率49.4%。前年度末より2.4%増加。

2025年度 当期純利益影響項目

	単位：百万円	2025年度	2024年度	増減率
1	営業利益	11,604	10,153	+14.3%
2	営業外収益	597	805	△ 25.8%
3	受取利息・配当金	268	325	△ 17.5%
4	持分法による投資利益	34	180	△ 81.1%
5	その他	293	298	△ 1.7%
6	営業外費用	1,024	874	+17.2%
7	支払利息	528	414	+27.5%
8	売場什器等除却損	72	31	+132.3%
9	為替差損	25	109	△ 77.1%
10	その他	398	318	+25.2%
11	営業外損益計	△ 427	△ 69	-
12	経常利益	11,176	10,084	+10.8%
13	特別利益	5,254	4,885	+7.6%
14	投資有価証券売却益	1,719	2,131	△ 19.3%
15	固定資産売却益	3,517	1,012	+247.5%
16	関係会社売却益	-	1,122	-
17	リース解約益	-	617	-
18	その他	17	-	-
19	特別損失	2,891	4,162	△ 30.5%
20	減損損失	2,621	906	+189.3%
21	関係会社整理損	-	1,454	-
22	段階取得に係る差損	-	1,088	-
23	その他	269	713	△ 62.3%
24	特別損益	2,363	722	+227.3%
25	税前利益	13,539	10,807	+25.3%
26	法人税等	3,445	2,228	+54.6%
27	少数株主損益	-	61	-
28	当期純利益	10,094	8,516	+18.5%

当期純利益影響項目

- 営業外収益は、政策保有株式売却に伴う「受取配当金」の減少や、ウィゴーが持分法対象企業でなくなったことによる「持分法による投資利益」の減少により、208百万円の減少。
- 営業外費用は、金利上昇に伴う支払利息の増加等により、150百万円の増加。
- 以上の結果、経常利益は、前年同期比+10.8%増の112億円となった。
- 特別損益は、第4四半期に行った固定資産売却による利益の計上、前年度に計上した一過性の損失（イタリアの清算損失、ウィゴー社株式の段階取得に係る差損等）がなくなったこと等により、前年同期から約16億円の改善。
- 以上の結果、当期純利益は前年同期比18.5%増の101億円となった。

2025年度 キャッシュフロー/設備投資/減価償却費

■ キャッシュ・フロー

- 営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前利益、および仕入債務の増加等により82億円の収入。
- 投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券、有形固定資産の売却等により64億円の収入。
- 財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の減少および配当金の支払い等の結果、86億円の支出。

■ 設備投資

- 設備投資額は、前年同期から4億円増加の60億円。
- DX関連や出店関連など投資を厳選し、効率的に実施。

単位：百万円			
2025年度	2024年度	増減	増減率
5,980	5,564	+416	+7.5%

■ 減価償却費

- 減価償却費は、前年同期から2億円増加の45億円。

単位：百万円			
2025年度	2024年度	増減	増減率
4,514	4,357	+157	+3.6%

2025年度 主要財務指標

EBITDA

単位：百万円

2025年度	2024年度	増減	増減率
17,195	15,452	+1,743	+11.3%

自己資本比率

2025年度末	2024年度末	増減
49.4%	47.0%	+2.4%

純資産

単位：百万円

2025年度末	2024年度末	増減	増減率
93,588	84,287	+9,301	+11.0%

流動比率

2025年度末	2024年度末	増減
134.8%	127.7%	+7.1%

ROE（自己資本利益率）

2025年度末	2024年度末	増減
11.4%	10.4%	+1.0%

ROIC（投下資本利益率）

2025年度末	2024年度末	増減
5.9%	5.5%	+0.4%

05

Topics



「SALON 23区 AOYAMA」オープン

モノからコトへ、そして、共感体験へ

(オンワード樫山2026年3月)

AI時代だからこそ人にしかできない体験価値を生み出す場として、フラッグシップストア「SALON 23区 AOYAMA」を、オンワードグループ創業100年目の記念すべき年に、東京・青山にオープン。『23区』のフルラインナップに加え、国内外から厳選したバイイングアイテムを展開。上質な店舗空間と、きめ細やかなサービスを融合させた“新たなブランド体験”の場としていく。

「SALON 23区 AOYAMA」の特徴

OFFICE (Morning)、TERRACE (Daytime)、ROOM (Evening)の3つのテーマでエリアを構成。また、最高のおもてなしを提供する居心地の良い“SALON”となり、世代や時代を超えて受け継がれる『23区』の美意識を感じていただける「VIP ROOM」をご用意。今後は、カスタマイズ企画など、様々なイベントも開催予定。

オープニングセレモニー

オープンに先駆け、2026年3月23日に、ブランドアンバサダーの見上愛さんを迎え、トークセッション等セレモニーを実施。

ブランドコンセプト

“THE STANDARD, NEW ME”

世代、時代を超えて愛される、シンプルで上品な服。
常に新しく、シックでモダンな自分らしいスタイル。
美しく、心地よく、今の空気をまとう。

店舗概要

SALON 23区 AOYAMA

〒107-0062 東京都港区南青山3-8-35

表参道Grid Tower 1F

営業時間11:00-19:00

定休日：月曜日（祝日は営業）



『しろたん』TVアニメ化決定！

2026年秋、テレビ朝日にて放送開始

(クリエイティブヨーコ2026年3月)

1999年の誕生以来、多くの方々に愛されてきた、クリエイティブヨーコオリジナルキャラクター『しろたん』のTVアニメが、2026年秋からテレビ朝日にて放送開始予定。アニメ放送を最大のフックとして、多角的な事業展開を推進し、さらなるIP（知的財産）価値の向上とグローバル市場への進出を一段と促進。

■『しろたん』とは・・・

クリエイティブヨーコ社の理念である「なごみ・いやし・はげまし・ふれあい」を体現する“たてごとアザラシ”をモデルとしたオリジナルキャラクター。1999年の誕生以来、やわらかな手触りの抱きぐるみ・ぬいぐるみを主力商品として展開。2017年からライセンスビジネスをスタートし、多くの生活雑貨やアパレルなどに採用され、国内外で“そばにいとほっとする存在”として親しまれている。

■ TVアニメ放送を開始する背景

・メディア戦略の推進

アニメ放送を開始することで、たくさんの方へ「ふわふわ」な癒やしの時間をお届けし、子どもから大人まで、あらゆる世代へ『しろたん』の魅力を広める。

・ライセンス展開の拡大

アニメ放送によるIP価値の向上を「次なるステージへの起点」と捉え、多方面へのライセンス拡大を推進。生活のあらゆるシーンで身近に『しろたん』と触れ合える機会を創出。

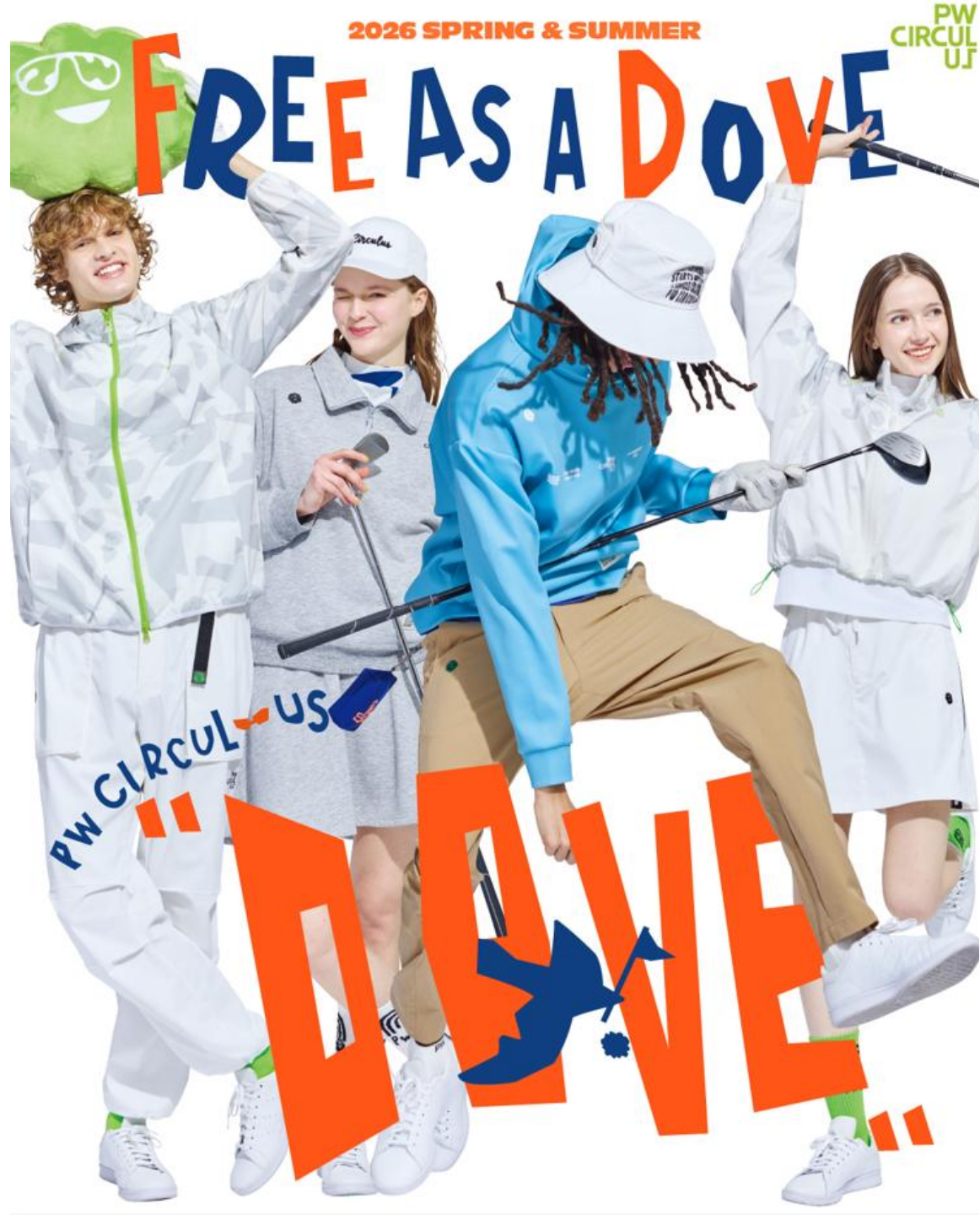
・SNSマーケティング

アニメ放送と連動し、『しろたん』公式SNSを通じた施策をスタート。既存ファンのエンゲージメントをより一層深めると同時に、デジタルネイティブ世代へのアプローチを強化することで、新たなファン獲得を目指す。



06

人的資本経営への取り組み



管理職級の女性比率が3割超、離職率は約5割減少

オンワードの働き方改革プロジェクト「働き方デザイン」

(オンワードホールディングス2025年10月)

業務効率化とワーク・ライフ・バランスの実現により生産性を向上することを目的に、2019年8月から社員の働き方改革プロジェクト「働き方デザイン」を推進しており、2024年度の成果を2025年10月に開示。

同プロジェクトを実施している中核事業会社の株式会社オンワード樫山において、管理職級の女性比率が3割超。また、離職率は5.7%（国の平均値12.1%）となり、2018年度と比較して約5割減少。

■ 取り組み内容

・メンター制度

2022年度から、経験豊かな先輩社員（メンター）が双方向の対話を通じて、後輩社員（メンティ）のキャリア形成上の課題解決や悩みの解消を援助して個人の成長をサポートする「メンター制度」を導入。年間約30名のメンティを対象に、およそ月2回のメンタリング（面談）を行っている。

2024年度はチャコット株式会社や株式会社大和、株式会社アイランドへと対象を拡大。オンワードグループ全体の経営人財育成とともに、事業会社の枠を超えた人財交流につなげている。

・ダイアログセッションの実施

2023年度から、社長の保元と管理職の社員が、企業の成長と発展を目的に、ダイバーシティ推進について課題の共有と解決策を議論する「ダイアログセッション」を実施。プレゼン形式ではなく対話形式にすることにより、相互の理解を促進。

2023年度は、「女性活躍」をテーマに、女性管理職4名が参加。2024年度は、「イノベーションの促進に向けたダイバーシティ」をテーマに実施し、性別に関係なく管理職の社員36名が参加。この取り組みにより、業務効率向上や新規事業のアイデアを誰でもあげることのできる仕組み（VOICE UP! ONWARD）などが誕生。



『ライフ・ワーク・バランス EXPO 東京2026』にて 当社社長保元が登壇

オンワードの働き方改革プロジェクト「働き方デザイン」

(オンワードホールディングス2026年2月)

2月6日国際フォーラムで開催された『ライフ・ワーク・バランス EXPO 東京2026』に、当社社長保元が登壇。「働き方デザイン」プロジェクトの最新の取り組みや成果を紹介し、業界内外に向けて当社の働き方改革の先進事例を発信。

■ 2025年度の「働き方デザイン」実績

男性育休取得率100%を達成

男性社員の育児休業取得が全社的に定着し、ワーク・ライフ・バランスのさらなる推進に大きく寄与。育休取得を推進する制度整備と職場の理解促進が奏功。

女性執行役員を1名新たに登用、役員の女性比率は14.3%に上昇

2026年3月時点、株式会社オンワード樫山の役員に占める女性比率は14.3%。女性の管理職・役員登用を後押しする施策が着実に成果をあげている。

「マイナビ転職BEST VALUE AWARD 2026」にて

「キャリア支援優良企業賞」を受賞

多様なキャリアパス整備やメンター制度、ストアマイスター制度、副業制度などの施策により、社員の成長と定着を促進し、外部から高い評価を獲得。

「D&I AWARD 2025」において3年連続の最高ランク

「ベストワークプレイス」に認定

多様性と包摂性（Diversity & Inclusion）の推進において高い評価を継続。ダイアログセッションや多様な働き方支援制度の継続的実施が評価された。

株式会社オンワード樫山が東京都「心のバリアフリー」サポート企業に登録

心の障壁を取り除く職場環境づくりに積極的に取り組み、東京都「心のバリアフリー」サポート企業に登録された。心理的安全性の高い職場づくりを推進。



07

サステナブル経営への取り組み



オンワードの回収衣料品から生産した リサイクル毛布4,000枚をカザフスタンへ寄贈

～あなたのオンワードの服が、「希望をつなぐ毛布」に～

(オンワードホールディングス2025年10月)

当社の回収衣料品から生産したリサイクル毛布4,000枚を、日本赤十字社の協力のもと、カザフスタン赤新月社へ寄贈。10月21日にカザフスタン・カラガンダ州にて、10月22日にカザフスタン・アクモラ州にて、当社社員が現地の方々に直接リサイクル毛布を手渡す寄贈式を実施。

ご愛用いただいた当社の衣料品を回収し、リユース・リサイクルを行う「オンワード・グリーン・キャンペーン」を2009年から実施。回収した衣料品の一部から生産したリサイクル毛布は、国内外の被災地や開発途上国などの支援先へ寄贈。2010年から今回のカザフスタンを含め、累計で49,500枚を寄贈。

第15回目の支援先であるカザフstanは、中央アジア諸国の中で最大の経済規模を有する一方、急速な経済成長に伴い、都市部や地方部での経済格差と社会格差が課題となっている。砂漠化や水資源の不足、農業環境の悪化や、地震、洪水、干ばつ等の自然災害リスクにさらされており、特に北部や東部の地域の冬季は、気温が氷点下40度を下回ることもある。カザフスタンの農村部や地方部では、暖房設備が不十分であることが多く、多子世帯、低所得世帯等にとって、毛布は生命を守るために不可欠な物資となる。

当社が寄贈したリサイクル毛布4,000枚は、支援を必要とする方々へ、カザフスタン赤新月社から配布される。



日本一の森林率を誇る高知県の森林保全活動に 当社社員が参加

(オンワードホールディングス2025年10月)

高知県が推進する「協働の森づくり事業」について、高知県、高知市とパートナーズ協定を締結しており、2025年10月、協定森林である「土佐山 オンワード “虹の森”」森林保全活動に当社グループ社員が参加。

「協働の森づくり事業」は、日本一の森林率（84％）を誇る高知県で、地域と企業が協働して「森林の再生」と「地域との交流」を柱とした取り組みにより、持続可能な森林の再生と地域の皆さまとの活発な交流を目指している。

当社は、2008年11月にアパレル業界として初めてパートナーズ協定を締結し、協定森林を「土佐山 オンワード “虹の森”」と名づけて、地域の方々の協力のもと、森林保全活動を約17年にわたり行っている。

今回の活動は、当社グループの社員23名が参加し、10月9日（木）、10日（金）の2日間で実施。間伐が必要な樹木の伐採作業に従事したほか、高知県林業環境政策課による森林の役割や間伐活動の意義などについての講義受講、ヒノキからトレイを製作するワークショップ、地域の方々との交流会を行った。



08

Appendix

躍れ、表情。

Chacott

COSMETICS



OMOサービス（オンワード樫山）

クリック&トライ

■ 導入店舗数・予約点数の推移

	2025年度	2024年度	増減
導入店舗数 ※2026年2月末時	442	413	+29
導入率	70.4%	64.3%	+6.1%
予約客数（名）	142,431	138,256	+3.0%
予約点数（点）	294,956	282,129	+4.5%
売上客数（名）	58,110	56,210	+3.4%
売上点数（点）	131,086	122,423	+7.1%
売上（百万円）	2,774	2,504	+10.8%

■ 導入店舗・未導入店舗の売上高（前期比）

	2025年度	2024年度
導入店舗	105%	112%
未導入店舗	95%	97%
差	+10%	+15%

「クリック&トライ」サービスとは・・・

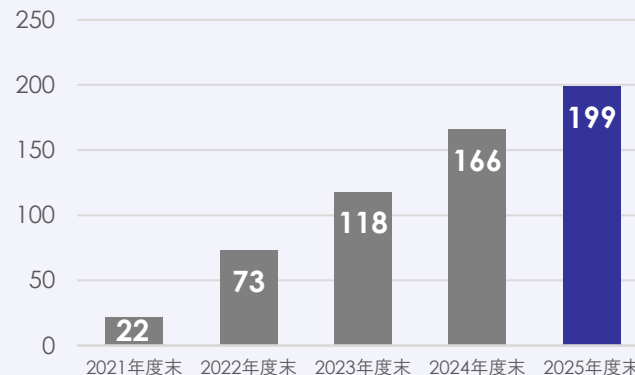
「ONWARD CROSSET」の商品を実店舗でご試着いただけるお取り寄せサービス。

全国のサービス対象店舗から近隣の店舗を選択いただき、オンラインストアで気になるアイテムを試着して、納得してお買い物を楽しんでいただけます。

普段取り扱いのないブランドの取り寄せや、サイズ・色欠品にも対応でき、コーディネート幅が広がって、客単価のUPにつながっている。

オンワード・クローゼットセレクト (OCS)

■ OCS 店舗数の推移



■ OCS 売上高（前期比）

	2025年度
オンワード・クローゼットセレクト（OCS）	109%
OCS除リアル店舗 ※アウトレット・路面除く	94%
差	+15%

■ OCS の収益性

・OCS切替前後1年対比（売上上位5店舗計）

売上+8.5%、人頭効率+24.8%、月坪効率+34.7%

・OCS切替前1年 対 2025年度（同上5店舗）

売上+15.2%、人頭効率+29.8%、月坪効率+43.1%

2025年度 連結販管費

ウィゴー社除く

単位：百万円		2025年度	2024年度	増減率	2025年度	2024年度	増減率
1	人件費	42,363	37,820	+12.0%	36,697	35,633	+3.0%
2	賃借料	32,173	28,362	+13.4%	26,428	25,966	+1.8%
3	運賃運搬費	7,846	6,861	+14.4%	6,915	6,498	+6.4%
4	広告宣伝費	8,826	7,362	+19.9%	7,674	7,022	+9.3%
5	減価償却費	3,721	3,542	+5.1%	3,406	3,406	+0.0%
6	その他	22,882	19,475	+17.5%	20,358	18,518	+9.9%
7	販管費計	117,811	103,422	+13.9%	101,478	97,043	+4.6%

増減理由

- 人件費 …… 賃金アップ等の人的資本投資強化による増加
- 賃借料 …… ショッピングセンター等店舗の売上伸長、新規店舗の出店等による増加
- 運賃運搬費 …… EC売上、カタログギフト販売の増加等に伴う配送料の増加
- 広告宣伝費 …… プロモーション施策やデジタル広告施策等、積極投資による増加
- その他 …… 売上に連動する決済手数料や販売手数料、新規出店に伴う営業用消耗品費等による増加

2025年度 旧セグメント別 実績・予想

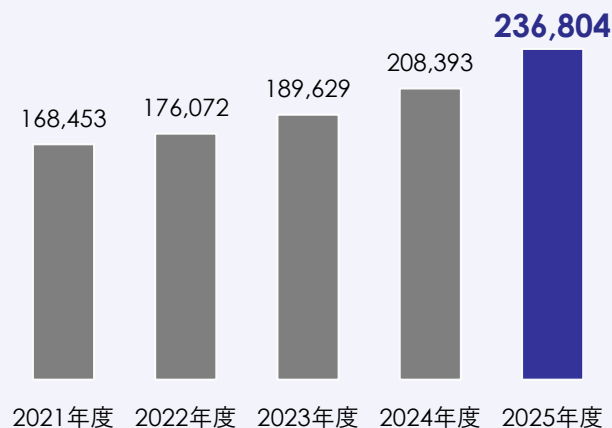
		2025年度 通期実績				2026年度 通期予想			
		2025年度	2024年度	増減額	増減率	2026年度	2025年度	増減額	増減率
単位：百万円									
オンワード +HD 榎山	1 売上高	115,850	113,613	+2,237	+2.0%	116,730	115,850	+880	+0.8%
	2 売上総利益	67,169	65,311	+1,858	+2.8%	67,530	67,169	+361	+0.5%
	(対売上高比率)	(58.0%)	(57.5%)		(+0.5%)	(57.9%)	(58.0%)		(△ 0.1%)
	3 販管費	59,929	58,121	+1,808	+3.1%	60,000	59,929	+71	+0.1%
	(対売上高比率)	(51.7%)	(51.2%)		(+0.5%)	(51.4%)	(51.7%)		(△ 0.3%)
(オンワード 榎山+HD 除く)	4 営業利益	7,240	7,190	+50	+0.7%	7,530	7,240	+290	+4.0%
	(対売上高比率)	(6.2%)	(6.3%)		(△ 0.1%)	(6.5%)	(6.2%)		(+0.3%)
	5 売上高	111,744	86,123	+25,621	+29.7%	119,830	111,744	+8,086	+7.2%
	6 売上総利益	56,086	42,388	+13,698	+32.3%	61,440	56,086	+5,354	+9.5%
国内グループ 会社小計	(対売上高比率)	(50.2%)	(49.2%)		(+1.0%)	(51.3%)	(50.2%)		(+1.1%)
	7 販管費	49,297	36,957	+12,340	+33.4%	53,450	49,357	+4,093	+8.3%
	(対売上高比率)	(44.1%)	(42.9%)		(+1.2%)	(44.6%)	(44.2%)		(+0.4%)
	8 営業利益	6,789	5,431	+1,358	+25.0%	7,990	6,729	+1,261	+18.7%
海外グループ 会社小計	(対売上高比率)	(6.1%)	(6.3%)		(△ 0.2%)	(6.7%)	(6.0%)		(+0.7%)
	9 売上高	23,018	21,828	+1,190	+5.5%	25,900	23,018	+2,882	+12.5%
	10 売上総利益	10,280	9,947	+333	+3.3%	10,960	10,280	+680	+6.6%
	(対売上高比率)	(44.7%)	(45.6%)		(△ 0.9%)	(42.3%)	(44.7%)		(△ 2.4%)
	11 販管費	10,012	10,062	△ 50	△ 0.5%	10,480	10,012	+468	+4.7%
	(対売上高比率)	(43.5%)	(46.1%)		(△ 2.6%)	(40.5%)	(43.5%)		(△ 3.0%)
	12 営業利益	268	△ 115	+383		480	268	+212	+79.1%
	(対売上高比率)	(1.2%)	-			(1.9%)	(1.2%)		(+0.7%)

2026年度 事業領域別 予想

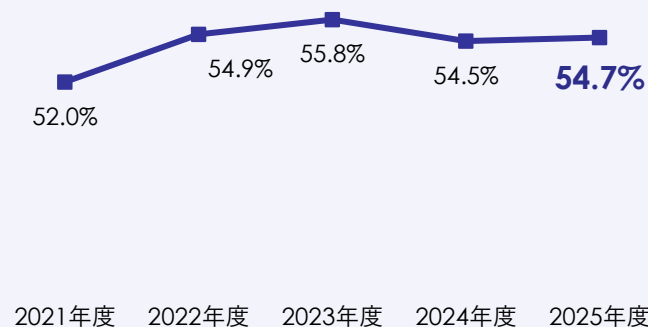
		上期予想				下期予想				通期予想			
		2026年度	2025年度	増減額	増減率	2026年度	2025年度	増減額	増減率	2026年度	2025年度	増減額	増減率
単位：百万円													
ファッション領域	1 売上高	93,090	89,026	+4,064	+4.6%	102,740	99,037	+3,703	+3.7%	195,830	188,063	+7,767	+4.1%
	2 売上総利益	52,160	50,371	+1,789	+3.6%	56,770	54,728	+2,042	+3.7%	108,930	105,099	+3,831	+3.6%
	(対売上高比率)	(56.0%)	(56.6%)		(Δ 0.6%)	(55.3%)	(55.3%)		(+0.0%)	(55.6%)	(55.9%)		(Δ 0.3%)
	3 販管費	48,070	46,772	+1,298	+2.8%	50,740	49,181	+1,559	+3.2%	98,810	95,953	+2,857	+3.0%
	(対売上高比率)	(51.6%)	(52.5%)		(Δ 0.9%)	(49.4%)	(49.7%)		(Δ 0.3%)	(50.5%)	(51.0%)		(Δ 0.5%)
ウェルネス領域	4 営業利益	4,090	3,599	+491	+13.6%	6,030	5,547	+483	+8.7%	10,120	9,146	+974	+10.6%
	(対売上高比率)	(4.4%)	(4.0%)		(+0.4%)	(5.9%)	(5.6%)		(+0.3%)	(5.2%)	(4.9%)		(+0.3%)
	5 売上高	23,600	21,400	+2,200	+10.3%	23,660	22,028	+1,632	+7.4%	47,260	43,428	+3,832	+8.8%
	6 売上総利益	12,930	11,790	+1,140	+9.7%	12,750	11,505	+1,245	+10.8%	25,680	23,295	+2,385	+10.2%
	(対売上高比率)	(54.8%)	(55.1%)		(Δ 0.3%)	(53.9%)	(52.2%)		(+1.7%)	(54.3%)	(53.6%)		(+0.7%)
コーポレートデザイン領域	7 販管費	10,580	9,736	+844	+8.7%	11,220	10,230	+990	+9.7%	21,800	19,966	+1,834	+9.2%
	(対売上高比率)	(44.8%)	(45.5%)		(Δ 0.7%)	(47.4%)	(46.4%)		(+1.0%)	(46.1%)	(46.0%)		(+0.1%)
	8 営業利益	2,350	2,054	+296	+14.4%	1,530	1,275	+255	+20.0%	3,880	3,329	+551	+16.6%
	(対売上高比率)	(10.0%)	(9.6%)		(+0.4%)	(6.5%)	(5.8%)		(+0.7%)	(8.2%)	(7.7%)		(+0.5%)
	9 売上高	8,740	9,004	△ 264	△ 2.9%	10,630	10,117	+513	+5.1%	19,370	19,121	+249	+1.3%
	10 売上総利益	2,480	2,515	△ 35	△ 1.4%	2,840	2,626	+214	+8.1%	5,320	5,141	+179	+3.5%
	(対売上高比率)	(28.4%)	(27.9%)		(+0.5%)	(26.7%)	(26.0%)		(+0.7%)	(27.5%)	(26.9%)		(+0.6%)
	11 販管費	1,570	1,607	△ 37	△ 2.3%	1,750	1,712	+38	+2.2%	3,320	3,319	+1	+0.0%
	(対売上高比率)	(18.0%)	(17.8%)		(+0.2%)	(16.5%)	(16.9%)		(Δ 0.4%)	(17.1%)	(17.4%)		(Δ 0.3%)
	12 営業利益	910	908	+2	+0.2%	1,090	914	+176	+19.3%	2,000	1,822	+178	+9.8%
	(対売上高比率)	(10.4%)	(10.1%)		(+0.3%)	(10.3%)	(9.0%)		(+1.3%)	(10.3%)	(9.5%)		(+0.8%)

過去5年の推移

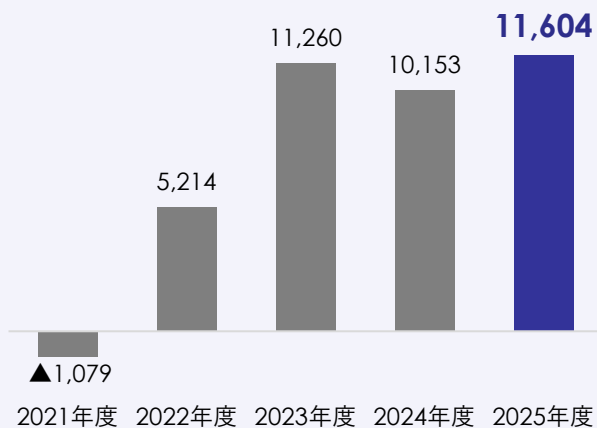
■ 連結売上高 単位：百万円



■ 連結売上総利益率

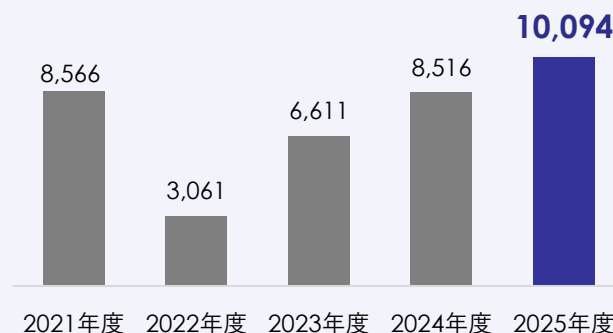


■ 連結営業利益 単位：百万円



■ 親会社株主に帰属する当期純利益

単位：百万円



資本コストや株価を意識した経営について

株価・ROE・PBR・PER推移



	2022年2月末	2023年2月末	2024年2月末	2025年2月末	2026年2月末
株価	277	341	513	539	817
ROE	13.9%	4.3%	8.6%	10.4%	11.4%
PBR	0.56	0.62	0.87	0.87	1.19
PER	4.38	15.11	10.53	8.59	11.0

- 株価は2025年3月1日から2026年2月末日の1年間で+278円（+51.6%）上昇。PBRは1倍超。
- ROE10%以上の目標は達成したが、引き続き資本効率重視の財務戦略を実行していく。

資本コストや株価を意識した経営について

IR活動件数推移

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
決算説明会	4	4	4	4	4
1on1件数	47	64	68	101	129
スモールミーティング開催数	1	1	3	2	4
事業説明会等イベント数	-	-	-	-	4
述べ参加人数 (決算説明会除く)	54	71	97	118	211

- 株主・投資家の皆さまとの対話を積極的に実施し、頂いたご意見・ご要望をマネジメントへフィードバックするサイクルを軸としたIR活動を推進。
- IR活動において得られたご意見をもとに、情報開示の拡充や経営課題の改善を実現し、株主・投資家の皆さまとの信頼関係の構築、資本市場からの適正な評価の浸透を図り、中長期的な企業価値向上へ。

株主・投資家の皆さまとの対話において得られたご意見をもとに改善した実施例

- ・役員向け株式報酬制度の導入
- ・中間配当の実施
- ・当社マネジメントとの対話機会の充実
- ・事業説明会等IRイベント開催
- ・IR資料の開示内容の拡充 等



本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。
また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での弊社の判断であり、
その情報の正確性を保証するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。
この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は
一切責任を負いませんのでご承知おきください。